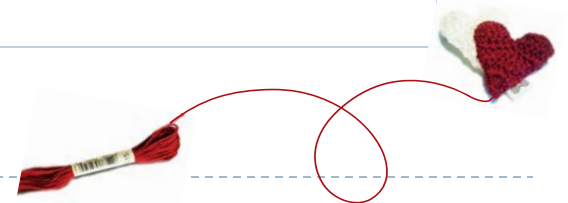


被災地の手仕事EAST LOOP サステナビリティ現地事務局設立プロジェクト

NPO法人遠野山・里・暮らしネットワーク



EAST LOOPとは



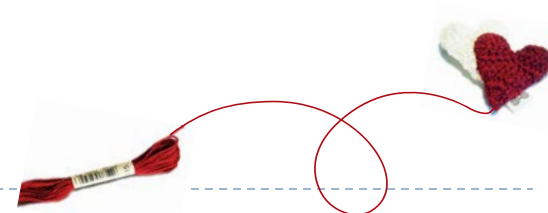
笑顔をつなげるかぎ針編みのハートブローチ

「被災地と全国の人々がハートでつながること」をイメージしたシンプルなブローチ

EAST LOOPのLOOPには、
「一方的に施しを与える」
「受ける関係ではなく
つながり循環していく関係をつくりたい」
という気持ちがこめられている



2011年から被災地の女性の手仕事して事業開始
企画元 ㈱福市、現地事務所 NPO法人遠野山里ネット



事業概要

被災地復興応援プロジェクトからソーシャルビジネスへ

○EAST LOOPの現地事務局の新設

○企画元(株)福市（大阪、フェアトレード）から

NP0遠野山里ネット（岩手県遠野、NP0法人）への生産管理部門を移管

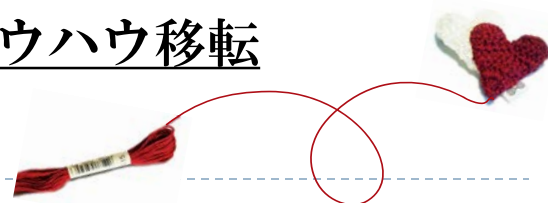
○被災地の起業家、全国のニットメーカー、専門家等との連携事業実施

○各地域の作り手のグループ化

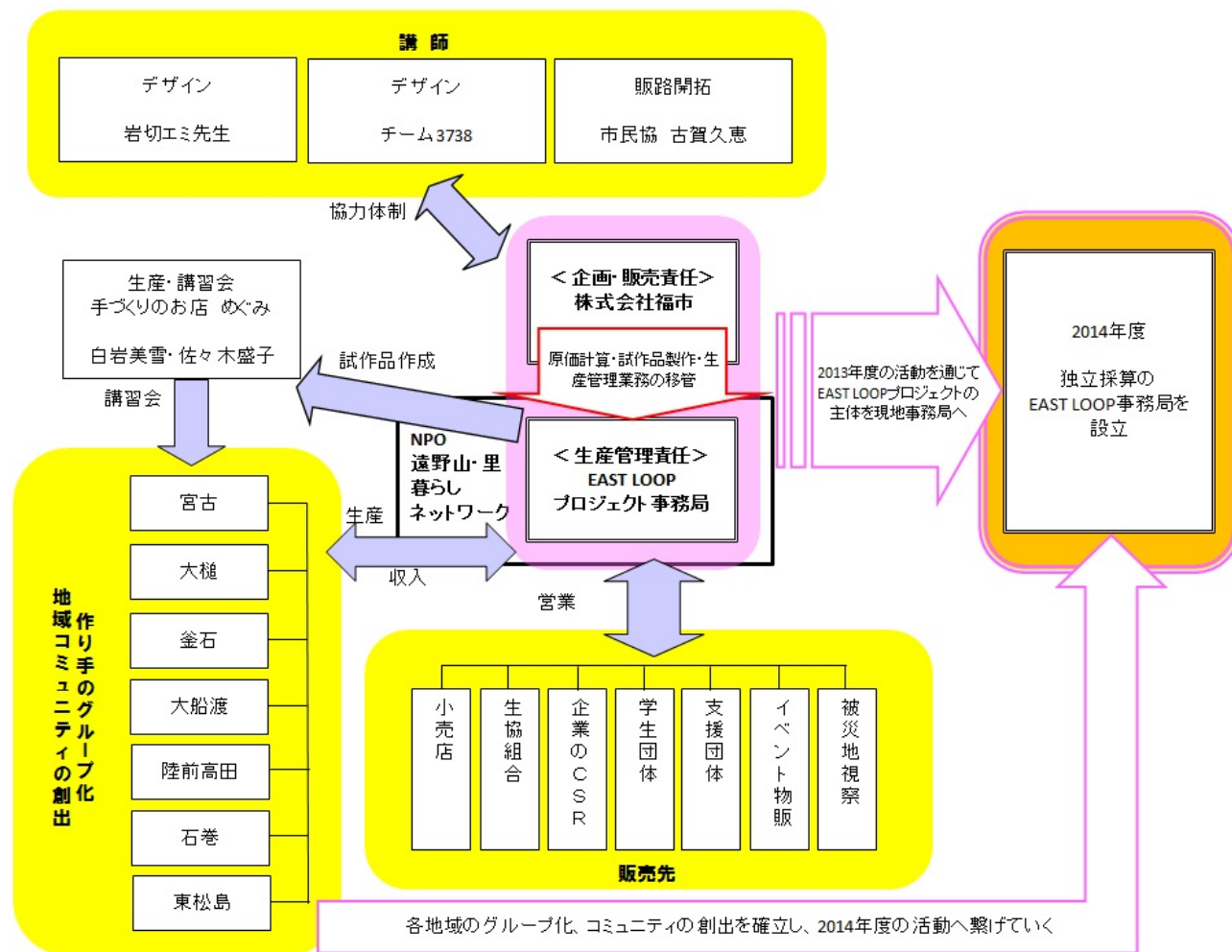


2014年度を目標に、現地への独立採算運営事務所設立

及び継続的な運営のためのノウハウ移転



実施体制



生産管理部門の移管・運営する事務局の新設

○生産管理部門の移管



企画元 (株)福市 (大阪) (営業、商品開発、PR)

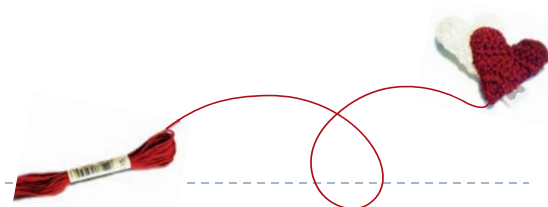


平成25年度 生産管理部門の移管



現地事務所 NP0法人遠野山・里・暮らしネットワーク (岩手遠野)

○EAST LOOPの現地事務局の新設



活動地域の拡大、グループ化

宮城県気仙沼への活動地の拡大

コミュニティ創出・ネットワーク化・生産管理体制強化

宮	古	はまぎくあみーず
大	槌	ひよっこり姉妹's
釜	石	はまゆりん
大	船	つばきグランマ
陸前高田	渡	高田Amu-jye

拡大

気仙沼

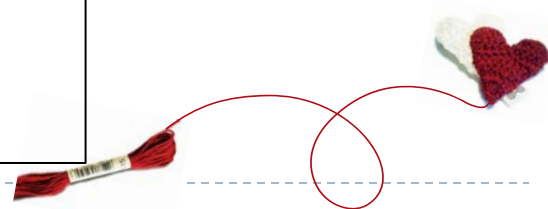
マリャガガア



講習の様子

2013年4月～2014年3月実績

- * 講習会・・・22回
- * 参加延人数・・・518人
- * 納品数・・・15,498個
- * 作り手収入・・・3,794,150円



作り手のグループ化 陸前高田講習会

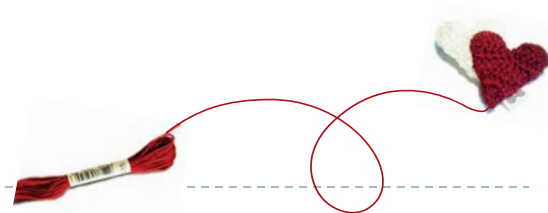


作り手のグループ化 大槌講習会



ビジネス展開のための連携事業

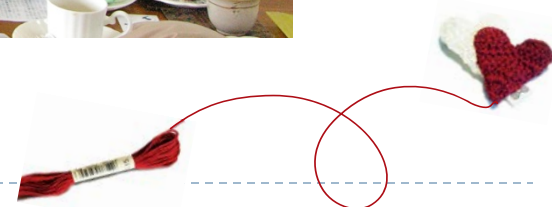
- ▶ 陸前高田の手づくりのお店 「夢工房 恵」との連携
- ▶ 商品開発のための専門家との連携
(ニットメーカー、岩切エミ先生など)



ビジネス展開のための連携事業 販売応援団



東洋大学社会学部 青木教授による販売支援
陸前高田の作り手を囲んで



事業成果

発災から3年が過ぎ、被災地への関心が薄れていくのと同時に、被災地応援グッズの販売も、一般的には下降傾向にあります。しかし、当プロジェクトの商品に対しては国内外から変わらぬ需要があります。その背景には、他の被災地応援グッズと異なり、フェアトレードの手法を活用できたことが大きいと考えています。

本事業では、そのフェアトレードの手法の一部分である生産管理部門を当法人に移管することができました。そのことにより、それまでは事務局が作り手個人と個々に連絡を取っていましたが、仮設住宅等を中心に近隣ごとにグループ化し、責任者を配置、責任者を通して事務局と連絡を取る体制が構築できました。

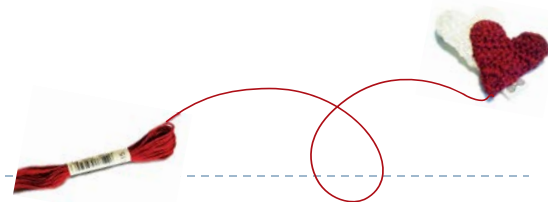
作り手同士に交流が生まれコミュニティの創出に繋がっただけでなく、各グループに名称を冠したことにより、モチベーションが向上し、更なるスキルアップを求めるなど、作り手間に相乗効果が見られました。

また、当プロジェクトから昨年陸前高田に起業した第1号店である作り手「手づくりの店 めぐみ」は、本年度は、人材育成の場にもなり、教える人に教える役回りへと発展しました。本ケースは、作り手にとっての夢と目標となるなどの波及効果がみられました。

熱意のある地元の人と豊富なノウハウを持った外の人が連携したことで、被災各地の手芸を趣味とする人々と内陸にある事務局（当法人）、専門知識のある関西、関東、海外の人々との連携を通して、当プロジェクトに共感する企業による協力を得る事が出来ました。企業（材料メーカー）からは、購入することでの支援協力だけでなくサンプル製作依頼の協力を得ることもできました。

さらに、復興支援グッズ連携組織会議での他団体との情報共有並びに共同物販を行ったことにより、復興応援グッズの現状把握や商品販売に関する戦略を立てる際の参考になりました。

本事業は被災地版ソーシャルビジネスとして、多様な担い手の関わりを得ることができました。今後もこの関係を維持、発展させていくことで、持続可能な被災地復興の一助となっていくと考えています。



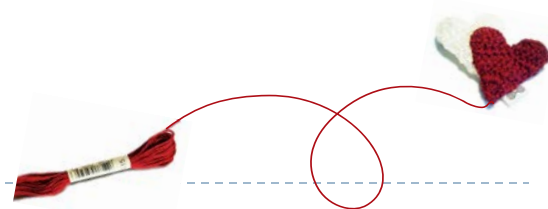
今後の展開

(株)福市を中心に専門家の協力の元、被災地発の魅力的な商品販売を継続的に展開することで、国内外へ東北の元気を発信被災地を中心としたソーシャルビジネスとして、社会的な活動としても展開を図る

▶ EASTLOOP生産管理部門以外のノウハウを順次移管

▶ 現地運営事務局が運営主体

商品開発、営業、PR部門、起業した作り手との連携、
今までの経験を活かしてEASTLOOP商品以外のサンプル品、
オリジナル品の依頼も対応



はたらくことは、生きること



ご清聴ありがとうございました。

